

1. インターバンク市場

先週のインターバンク市場は、大手行から0.06%ビッド、地銀・信託業態からは0.065~0.07%程度のビッドが週を通じて見られる中、複数業態から試し取りの動きが散見された。高水準の当座預金残高を背景に落ち着いた取引が続いていたものの、試し取りがレートを押上げたことで、無担保コールO/N加重平均レートは0.07前半~0.08%前後での推移となった。ターム物は証券業態のロールオーバーが中心となった。固定金利方式の共通担保資金供給オペは27日に3M物が1本オファーされ、応札額は3,310億円と札割れになった。25日には米ドル資金供給オペが1本オファーされ、事務手続き確認とみられる応札が100万ドルあった。

今週は、3、4日の税・保険料揚げ(前倒し含む)を中心に資金不足の週になると予測されているものの、高水準の当座預金残高を背景に、無担保コールO/N平均レートは引き続き0.07%台前半での推移となろう。試し取りの動きには注意したい。

2. オープン市場

先週の短国市場は、週を通してレートを切り下げる展開が続いた。24、25日は特段イベントが無く、3Mが0.04~0.045%程度の気配で推移。26日以降は、主に海外筋と見られる買いが強まり、3Mゾーンを中心に0.035~0.04%程度の出合いとなった。27日に実施された3M物の入札は、按分レート0.0401%、平均レート0.0389%、按分比率25.879%という結果。WI取引から0.038%が買われる等、過熱気味となっている中での入札となり、セカンダリーではショートカバーから0.036%が出合った。28日には0.035%の出合いが見られた。28日には、短国買入オペが2兆円通知され、按分利回格差 ▲0.004%、平均利回較差▲0.002%、按分比率42.6%という結果になった。引値を勘案すると、3Mゾーンで0.034~0.04%程度、6M~1Yでは0.04%台前半での決着と見込まれる。

先週のCP市場は、月末発行要因から、発行額は週間で1兆6,000億円程度(発行ベース)まで膨らんだ。発行レートは銘柄によってばらつきがあるものの、発行残高が高まっている銘柄はじり高傾向となっている。24日にはCP等買入オペが4,000億円通知され、応札総額5,930億円、落札総額3,444億円、按分レート0.081%、平均レート0.087%、按分比率12.4%という結果になった。足元現先レートの落ち着きから、前回よりもレートは小幅低下となっている。

今週の短国市場は、5日に6M物、6日に3M物の入札が予定されているが、当面は大きく需給が緩むことは考え辛く、順調な入札が予想される。CP市場は5日にCP等買入オペが予定されている。3月期内償還物の在庫が重たい印象があるなか、結果が注目される。

3. 資金需給および国債等

銀行券は週間で600億円程度の還収超見通し。財政資金は、4日の年金保険料揚げ、法人税・消費税揚げを中心に5兆600億円程度の揚げ超見通し。以上により、今週の資金需給(日銀調節を除く)は週間で5兆円程度の資金不足を予想する。国債・借入金(日銀償還は除く)の動きは次の通り。<3日>TB3M;償還47,500億円・発行57,000億円 <5日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円 <7日>交付税特会借入;期日10,500億円・新規10,500億円

2014年	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ	期日	新規実行	オペ合計	実質過不足
3/3 (月)	600	△ 22,600	△ 22,000	全店共通(固) CP買入 ETF買入	△ 2,200 △ 300	3,300	900	△ 21,100
3/4 (火)	0	△ 35,000	△ 35,000	国債買入 短国買入		100 6,400 20,000	26,400	△ 8,600
3/5 (水)	1,000	△ 4,000	△ 3,000				0	△ 3,000
3/6 (木)	0	6,000	6,000				0	6,000
3/7 (金)	△ 1,000	5,000	4,000	成長基盤強化	△ 7,400	6,300	△ 1,100	2,900
週間合計	600	△ 50,600	△ 50,000		△ 9,900	36,100	26,200	△ 23,800

(注) 上表の3/3は日銀予想、3/4以降は当社予想。

	国内主要経済指標	国債等入札予定	海外主要経済指標
3/3 (月)	10-12月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 財政資金対民間収支前月実績/当月見込み(財務省 15:00)		1月の米個人所得・消費支出 1月の米建設支出 2月のISM 製造業景況指数
3/4 (火)	2月のマネタリーベース(日銀 8:50) 3月の日銀当座預金増減要因見込み(日銀 8:50) 1月の毎月勤労統計調査速報(厚生労働省 10:30)	10Y 24,000億円 3/20発行	交付税借入 10,500億円 3/12借入
3/5 (水)		TB6M 35,000億円 3/10発行	米ページブック MPC(英中銀金融政策委員会, 1日目) 2月のISM 非製造業景況指数 10-12月期のユーロ圏GDP改定値
3/6 (木)		TB3M 57,000億円 3/10発行	MPC(英中銀金融政策委員会, 2日目) ECB定例理事会(金融政策発表あり) 1月の米製造業新規受注・出荷・在庫
3/7 (金)	2月のマネタリーベースと日本銀行の取引(日銀 8:50) 1月の景気動向指数速報(内閣府 14:00)		1月の米貿易収支 1月の米消費者信用残高 2月の米雇用統計

3/6 預保借入10,500億円 3/14借入

本資料の内容は、十分信頼し得る情報・データ等に基づいて作成しておりますが、内容の正確性については弊社がこれを保証するものではありません。掲載内容のタイトル・日時・地域等につきましては、お取引先様各位にて別途ご確認戴きますよう、何卒宜しくお願い申し上げます。

金融商品のお取引には価格変動等によるリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。

金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関 関東財務局長(登金)第526号 日本証券業協会加入